

高齢者の带状疱疹予防接種を実施します



市ホームページ

●対象者 次のいずれかに当てはまる人

- ①65歳以上（令和8年3月31日までに65歳となる人も含む。）
- ②60歳から64歳までの人で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に、日常生活活動が極度に制限される程度の障がいがある（身体障害者手帳1級程度）

※50～64歳の方は、带状疱疹予防接種の費用に対する助成金があります。詳細は、広報大野城5月1日号および市ホームページでお知らせします。

- 自己負担額 ◇乾燥弱毒生水痘ワクチン（ビケン） 1回当たり4900円
- ◇乾燥組換え带状疱疹ワクチン（シングリックス） 1回当たり1万円（2回で2万円）

※市民税非課税世帯、生活保護世帯は無料（未申告の方は申請前に市税課に申告してください）。次に記載する時期に転入した人が、料金免除を希望する場合は、課税状況の確認書類が必要です。事前に問い合わせてください。

◇令和6年1月1日以降に転入した人 4～6月に申請◇令和7年1月1日以降に転入した人 7月以降に申請

※接種後の払い戻しはできません。

●使用ワクチン 乾燥弱毒生水痘ワクチンと乾燥組換え带状疱疹ワクチンの2種類があります。どちらかのワクチンを接種してください。乾燥弱毒生水痘ワクチンと乾燥組換え带状疱疹ワクチンとは、接種回数や方法、スケジュール、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

ワクチンの種類と概要

| | 乾燥弱毒生水痘ワクチン（ビケン） | 乾燥組換え带状疱疹ワクチン（シングリックス） |
|------------|--|---|
| 接種回数（接種方法） | 1回（皮下に接種） | 2回（筋肉内に接種） |
| 接種スケジュール | — | 通常、2カ月以上の間隔を置いて2回接種※ |
| 接種できない人 | 病気や治療によって免疫が低下している人は、接種できません。 | 免疫の状態に関わらず、接種可能です。 |
| 接種に注意が必要な人 | 輸血やガンマグロブリンの注射を受けた人は治療後3カ月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた人は治療後6カ月以上において接種してください。 | 筋肉内に接種するため、血小板減少症や凝固障害を有する人、抗凝固療法を実施されている人は注意が必要です。 |

※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある人などは、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1カ月まで短縮できます。

带状疱疹に対するワクチンの効果（報告）

| | 乾燥弱毒生水痘ワクチン（ビケン） | 乾燥組換え带状疱疹ワクチン（シングリックス） |
|-----------|------------------|------------------------|
| 接種後 1年時点 | 6割程度の予防効果 | 9割以上の予防効果 |
| 接種後 5年時点 | 4割程度の予防効果 | 9割程度の予防効果 |
| 接種後 10年時点 | — | 7割程度の予防効果 |

※合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

主な副反応とその発現割合

ワクチンを接種後に次のような副反応が現れることがあります。また、頻度は不明ですが、乾燥弱毒生水痘ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、乾燥組換え带状疱疹ワクチンについては、ショック、アナフィラキシーが現れることがあります。

| | 乾燥弱毒生水痘ワクチン（ビケン） | 乾燥組換え带状疱疹ワクチン（シングリックス） |
|-------|-----------------------|------------------------|
| 70%以上 | — | 疼痛※ |
| 30%以上 | 発赤※ | 発赤※、筋肉痛、疲労 |
| 10%以上 | そう痒感※、熱感※、腫脹※、疼痛※、硬結※ | 頭痛、腫脹※、悪寒、発熱、胃腸症状 |
| 1%以上 | 発疹、倦怠感 | そう痒感※、倦怠感、その他の疼痛 |

※ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚生労働省にて作成資料）厚生労働省作成「带状疱疹の予防接種についての説明書」